

## 桐光会へのお礼メッセージ(2025 年度春学期)

---

### #1

この度は桐光会奨学金のご支援をいただきまして誠にありがとうございました。今年一月三日深夜に乾燥や電気ストーブの影響により自宅二階から火災が発生しました。死傷者は出なかったものの、自宅は全焼扱いとなり、取り壊しや引越しを余儀なくされ、スマートフォンやノートパソコンなどの電子機器、衣服や家具などの生活用品を揃える必要も出てきて、生活面での出費に困窮する状況に陥りました。そこでこの度申請させていただき、生活水準の不安を改善し、学業や就職活動に落ち着いて打ち込める態勢にまで回復することができました。今後は大学生として過ごせる残り一年間、より学びを得ることを心掛け、今まで参加してきたオープンキャンパスの取り組みにも最後まで勤しんでいきたいと思っております。同時に、今年の三月には中国語検定二級にも無事受かったことから、卒業までに中国語検定準一級に挑戦し、更には将来に向けて TOEIC の勉強にも励んでいきたいと考えております。私は来年から教育業界に携わり、生徒たちが勉強を通して、自分らしさを見出すことや先を見据えた学びを得ることのサポートをしていきたいと考えております。今回のような逼迫し自暴自棄にもなりそうな状況下でも、生きてさえいれば希望はあるということも仕事を通じて伝えていきたいと感じました。便宜を図っていただきご支援くださった桐光会の皆様には心から感謝しております。与えられた機会に報いるため、この一年間を実りあるものにして返していきたいと切に願います。ありがとうございました。

中国語学科 奨学生本人

### #2

この度は桐光会応急支援奨学金に採用いただきありがとうございます。今回申請に至った理由として、これまで主に学費等の支払いを行っていた母が事故で急逝したためです。父は還暦を迎えたため収入が減少したタイミングで、姉も働いていますが収入が少なく私のサポートをしてもらうことは厳しい状況でした。また姉はバセドウ病を患っておりその治療のため通院費など医療費がかかっており、経済的に厳しい状況でした。このような中、桐光会の皆様にご支援いただけることとなり、心より感謝申し上げます。いただいたご支援を励みに、国家試験合格と、将来理学療法士として必要な知識・技術を身につけるため、残り 2 年間これまで以上に学業に励む所存です。改めまして、この度はご支援いただき、誠にありがとうございました。

理学療法学科 奨学生本人

### #3

このたびは、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私は現在、家庭の経済的な事情により、学業と生活の両立に不安を抱えながら日々を過ごしておりました。とりわけ、学費を支えてくれている親が病気を患っており、その治療や生活の支援が必要な状況にあります。そうした中で、今回の奨学金に応募させていただいたのは、安心して学業に打ちこみ、この目白大学を卒業したいという強い思いからでした。採用していただいたことにより、経済的な不安が軽減さ

れ、これまで以上に学業に集中できる環境が整いました。勉強に専念できることのありがたさを日々実感しており、改めて多くの方々の支援の上に今の学生生活が成り立っていることを痛感しております。このような温かいご支援をいただいたことに感謝し、そのご厚意に報いるためにも、今後はこれまで以上に一生懸命学業に励んでまいります。大学での学びを大切に、知識を深めるとともに、人間として成長できるよう、努力を重ねていきたいと考えております。将来は大学での専攻を生かし、グローバルな視野を持って社会に貢献できる人材になることを目標にしております。多様な文化や価値観を理解し、国際社会において柔軟に対応できる力を身につけ、世界を舞台に活躍できるような人材になることを目指しています。今後とも精進を重ねてまいりますので、引き続き、温かく見守っていただけますと幸いです。このたびは誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

韓国語学科 奨学生本人

#### #4

この度は桐光会奨学金選考にて採用していただき、誠にありがとうございます。今回、桐光会奨学金を申請した理由は、父の年齢による減給です。これに伴い母はパートの他に派遣の仕事も始め家計を支えてくれています。私も家計の足しになればと微力ではありますがアルバイトをしております。ですが、教育費を占める割合が家計の大きな負担となっている為、今回奨学金制度を申請いたしました。採用により考えられる変化は、①家計の負担を減らせること、②私自身のアルバイトの時間を減らせる為、十分な学習時間を確保でき、今後の国家試験対策や就職活動などに専念できることが考えられます。今後の学生生活は、国家試験に向け学内に残り自習を行い、講義では内容をよく聞き、できる限り一度で理解できるように取り組んでまいります。また自習や講義を聞いていて疑問に思ったことは積極的に先生方に質問し確認することも徹底してまいります。卒業後の進路は矯正歯科に特化した歯科医院への就職を考えております。私自身、現在矯正治療を行っていることもあり、他講義よりも歯科矯正学の講義には強い興味を持って取り組みました。これを活かし将来は認定矯正歯科衛生士の資格を取得したいと考えております。矯正について幅広い知識を持った優秀な歯科衛生士として活躍することを目標に、今後とも日々精進してまいります。

歯科衛生学科 奨学生本人

#### #5

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただきありがとうございます。兄の留年の関係で学費や教材費、交通費などの想定外の出費と就職して入る予定だった収入のあてが無くなり、金銭的な余裕が無い状況でした。私自身アルバイトも行っておりますが、講義や勉強へ使うための時間の確保や実習が始まるとアルバイトができなくなることを考慮し、申請に至りました。今回採用していただけたことで家計にも余裕ができ、十分な勉強時間を確保し、今後の学業や実習に安心して取り組むことができます。専門的な講義も増え、多くの知識や検査の技術が求められると思われませんが、一生懸命取り組み多くの人を笑顔にできる言語聴覚士を目指していきます。最後になりますが桐光会の皆様、この度は修学支援奨学金に採用していただき心より感謝申し上げます。

言語聴覚学科 奨学生本人